第Ⅱ部

看護のための 評価研究の課題と可能性

第4章　コンピュータ・テクノロジーと評価研究……………………W.L.Holzemer……20

1．臨床情報をテクノロジーを用いて把握する課題　20
2．看護の最小限のデータ・セットの役割：例　20
3．看護の評価研究にとって興味深い現象(変数)を明確にし，とらえるための看護診断，分類法の役割　22
4．要　約　23

第5章　倫理問題と評価研究………………………………………W.L.Holzemer……24

1．研究参加への同意　24
2．評価研究活動と通常の看護ケア活動　24
3．リスクと利益　24
4．米国のポリシー(方針)と手順　25

第6章　研究の活用：研究は実践を変えるだろうか?…………………W.L.Holzemer……26

1．看護実践において看護研究の使用が少ないのは何故か　26
2．研究の活用の明確化：例　27
3．米国の動向　27

第7章　看護実践の本質と目標：臨床看護問題の研究に関する代替案………C.A.Lindeman……29

1．看護の概念　29
2．代替案と評価研究　30

第8章　要　約………………………………………………………C.A.Lindeman……34

1．デルファイ法の利用　34
2．デルファイ法によって明らかにされた研究の優先性　35
3．研究の優先順位を決定するための日本におけるデルファイ法利用の可能性　38

© IGAKU-SHOIN Ltd, 2013

2026/09/23 15:34:23